市議会 いせさき

＼ 伊勢崎のさきがわかる ／

第3回定例会
No.98

2024.8.1

伊勢崎市個人番号カード利用条例案など１９議案を可決

2　定例会の概要
2　主な議案の概要
3　一般質問
9　常任委員会審査
10　議案の議決結果
11　政務活動費収支報告
12　顕彰・表彰・感謝状受賞
12　各種お知らせ

境伊与久のひまわり

第3回 定例会の概要

6月6日～6月24日

市長から提出された議案　19件

- 条例関係　6件
- 補正予算　1件
- その他　12件

●6月6日　本会議

- 会期決定（6月24日までの19日間）
- 会議録署名議員の指名
- 全国市議会議長会表彰状及び感謝状伝達式
- 永年在職特別功労議員顕彰式
- 市長提出議案（伊勢崎市個人番号カード利用条例案など19件）の提案理由の説明
- 議案に対しての質疑

●6月7日　本会議

一般質問（質問者…議員7人・答弁者…市長、教育長、病院事業管理者及び所管の部長）

●6月10日　本会議

一般質問（質問者…議員6人・答弁者…市長、教育長及び所管の部長）

●6月12日　総務委員会

- 議案の審査　8件

●6月13日　文教福祉委員会

- 議案の審査　6件
- 所管事務調査

●6月14日　経済市民委員会

- 議案の審査　2件
- 所管事務調査

●6月17日　建設水道委員会

- 議案の審査　3件

●6月24日　本会議

- 常任委員会の委員長から審査結果の報告
- 議案の審査（結果は10ページに記載しています）

主な議案の概要

伊勢崎市個人番号カード利用条例案

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号カードの利用の開始に伴い、制定の必要を認めたもので、タクシー活用事業において個人番号カードを利用するものです。

個人番号カードでタクシー活用事業を

伊勢崎市市税条例の一部を改正する条例案

わがまち特例に係る課税標準の特例割合を定めること、関係法令の一部改正及び規定の整備を図ることに伴い、改正の必要を認めたものです。概要は個人市民税では、寄附金税額控除の対象に公益信託に係る寄附金を追加するもの及び公益法人等に係る市民税の課税の特例について規定の整備を図るもの、固定資産税では、バイオマス発電設備のうち、木材等に由来するもの又は農産物の収穫に伴って生ずるバイオマスを電気に変換するものに係る課税標準の特例割合を定めるもの及び引用する条ずれを改めるものです。

伊勢崎市手数料条例の一部を改正する条例案

手数料の徴収方法の追加に伴い、改正の必要を認めたもので、手数料の徴収方法として新たにキャッシュレス決済を追加するものです。

伊勢崎市営住宅設置条例の一部を改正する条例案

赤堀草倉住宅を廃止することに伴い、改正の必要を認めたものです。

第3次伊勢崎市総合計画長期ビジョン（基本構想）の策定について

平成26年度に策定した現行の伊勢崎市総合計画基本構想の計画期間が令和6年度をもって終了することから、新たに、令和7年度から令和16年度までの10年間を計画期間とする第3次伊勢崎市総合計画長期ビジョン（基本構想）を議会の議決を経て策定するものです。

伊勢崎市民体育館空調設備設置工事請負契約の締結について

- 工事場所　市民体育館
- 請負代金額　2億7610万円
- 受注者　三和水工・豊鉄水工業伊勢崎市民体育館空調設備設置工事特定建設工事共同企業体

ふくしプラザ改修空調設備工事請負契約の締結について

- 工事場所　ふくしプラザ
- 請負代金額　2億6730万円
- 受注者　中西工業・丸雄技研ふくしプラザ改修空調設備工事特定建設工事共同企業体

設備改修工事をするふくしプラザ

豊受公民館新築工事請負契約の締結について

- 工事場所　馬見塚町地内
- 請負代金額　2億9480万円
- 受注者　トーモー株式会社

災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型の取得について

境消防署の消防ポンプ自動車を取得するものです。

- 数量　1台
- 取得予定額　7227万円
- 契約の相手方　株式会社モリタ東京支店

市政のかじ取り役としての2期目への意欲と決意は

伊勢崎クラブ
野田文雄

動画はこちら

市政運営について

問　マニフェストの進捗を含めた1期目の総括は。

答　市長就任当時、まずは前市長が築き上げてこられた市政運営を引き継ぎ、行政の継続性を念頭に置きながら、第2次伊勢崎市総合計画の将来都市像である夢ふくらみ安心して暮らせる元気都市いせさきの実現に向け、全身全霊で市政を担当してまいりました。そして、公約したマニフェストに掲げた8つのイセサクを咲かせるべく、その実現に向けて取り組み、マニフェスト全体の達成状況は、昨年度末で87・3％となっており、一定の成果があったものと自負しています。また、これまでの市政運営の過程において、できる限り自らが現場に出向き、行政区の区長をはじめ市民の皆様と対話を重ねて、また、議員の皆様からいただいた御指導のおかげで、本日まで最善を尽くすことができたのではないかと総括しています。

問　市長2期目への意欲と決意は。

答　伊勢崎市を夢のある未来に向かってさらに大きく飛躍、発展をさせていかなければならないという責任感は、日を重ねるごとに強くなってきています。これからが本当に重要な時期となる伊勢崎市の市政運営のかじ取り役を引き続き担わせていただきたいと決意しており、来年1月の市長選挙への立候補を表明させていただきます。

学校給食費無償化に対する政策的検討について

問　学校給食費無償化について、令和5年12月定例会の一般質問において、今年度のなるべく早い時期に方向性を示す旨の答弁があったが、考えは。

答　特に家庭での教育費の負担が大きい中学生がいる世帯の負担軽減を図るため、来年度に中学生に対する学校給食費の無償化を実現します。その後、必要な財源確保に努めながら、逐次小学生に対しても学校給食費の無償化を実施し、数年後には小中学生の完全無償化を実現したいと考えています。

夢のある未来に向かって市政運営を

（仮称）市民ギャラリー建設に向けての考えは

伊勢崎クラブ
新井　智

動画はこちら

（仮称）市民ギャラリーについて

問　芸術は豊かな人間形成を生む原動力の役割を持つことを強く感じている。本市では多くの市民が活発に制作活動に取り組んでいるが、作品を発表する展示会場等の施設の少なさと、それを取り巻く環境の改善を懇願する声が多く聞こえてくる。市内の展示会場の現状把握と改善に向けた対応は。

答　文化会館及び境総合文化センターにおける展示会場の利用者から利便性に対する意見をいただいていることは認識しています。対処が可能なものはその都度改善に取り組み、展示会場までの案内表示の追加や通路の照明器具の交換、展示会場で使用できる備品の追加設置などを積極的に行ってきました。

問　複合施設として活用することについての検討は。

答　既存施設を工夫した上での活用やギャラリーに必要なスペース等を含め、設置の可能性について模索していきます。

問　市民の交流の場として利用することへの考えは。

答　市民ギャラリーは、市民が日頃文化芸術活動の中で創作した作品をより身近な形で主体的に展示できる場所であり、市民が集う文化芸術に触れ合える交流の場として様々な活用方法が考えられます。また、施設を訪れる方が文化芸術活動を通じて結びつき、地域の活性化を担う拠点と成り得る可能性を内包しているものと認識しています。

問　建設に向けての考えと取組は。

答　今後、既存施設の活用も含め、検討を進めていきます。また、既存展示施設の利便性向上に向けて、引き続き随時改善を行っていきますので、利用者にはさらに活用していただきたいと考えています。

その他の質問

- ●美術館について
- ●小中学校体育館の空調整備について

市民が集う市民ギャラリーの建設を

コミュニティ・スクールについての考えは

伊勢崎クラブ
馬庭充裕

動画はこちら

コミュニティ・スクール推進拡充について

問　世代を越えてつながるのが学校であり、コミュニティ・スクールは、その学校を核として学校づくり、まちづくりを行うことを制度・法的にも担保していこうというものだが、市長の所見は。

答　子供たちを取り巻く環境や学校が抱える課題が複雑多様化する中、コミュニティ・スクールは、地域住民が主体的に学校づくりに関わり、また、学校を核に地域ぐるみで子供を育む上でも大きな役割を果たし、地域間の共生にもつながるものと期待しています。

問　コミュニティ・スクール全校設置へ向けて次期教育振興基本計画に位置づけて計画的に進めるべきと考えるが、教育長の所見は。

答　今後は、各中学校区に1校という考え方にこだわらず、各地区の実態に合わせたコミュニティ・スクールの在り方を検討していきますが、次期教育振興基本計画などにも位置づけるとともに、本市の総合計画とも連動するものであると考えます。

金融教育について

問　市民向けの金融教育はトラブル回避の視点だけでなく、自分の生き方や価値観を磨きながら、より豊かな生活やよりよい社会づくりに向けて、主体的に行動できる市民の醸成につながるものと考えるが、市長部局における取組は。

答　出前講座・授業等の実施、冊子の配布などにより若年層への周知啓発を図っています。今後は、新たに成人年齢を迎える若者を中心に、金融教育の機会の拡充に努めていきます。

問　金融リテラシー向上を目的とした講座の実施は。

答　現在行っている消費者行政講座等で実施していきたいと考えます。

コミュニティ・スクール推進拡充を

その他の質問

- 公共施設等の総合管理について
- 行政改革について

成年後見制度について経過と実施時期は

有志会
堀地和子

動画はこちら

成年後見制度について

問　市民後見制度導入を求めて何回か質問してきた。成年後見制度については社会福祉協議会と調整が進んでいると聞いているが、経過と実施時期は。

答　成年後見制度は、認知症、知的障害、精神障害などによって物事を判断する能力が十分でない方について、御本人の権利を守る援助者を選ぶことで、御本人を法律的に支援する制度です。本市の昨年5月における成年後見制度の利用者数は273人であり、今後のさらなる高齢化に伴う認知症高齢者等の増加を見据えると、成年後見制度の必要性がさらに高まることから、制度の広報啓発や相談業務、申立支援などの一連の機能を有する中核的な機関を設置するため、令和3年度から伊勢崎市社会福祉協議会との協議を開始し、成年後見制度利用促進事業の委託内容を充実させ、準備してきました。現在は、外部委員等を構成員とする伊勢崎市成年後見制度利用促進協議会において、役割等について協議していただき、本年10月をめどに中核機関として、(仮称)伊勢崎市成年後見支援センターを設置します。

北部環状線について

問　県道桐生伊勢崎線バイパスの早期事業化に向けた調整と取組は。

答　令和2年12月に県が策定した、ぐんま・県土整備プラン2020において、県道桐生伊勢崎線バイパス整備として、上諏訪町地内の主要地方道桐生伊勢崎線から鹿島町地内の国道462号までの区間は、現在、着手に向けて検討する事業として位置づけられていますが、本年4月に県に対して、本年度に予定されるぐんま・県土整備プランの改訂に向けて、着手時期を明記した事業への格上げを要望しました。今後は、県の関係部署との綿密な調整を行うとともに、様々な機会を捉えて強く働きかけを行っていきます。

高齢化社会に向け支援する機関を

その他の質問

- 人事異動について
- 不登校について
- ごみの減量化について

公民館の地域コミュニティーセンター移行への考えは

伊勢崎クラブ
椎名三生

動画はこちら

公民館について

問　公民館は市政を市民が身近に感じられる最適な施設の一つと考えられ、学びの場と地域活動等の拠点となることが、今後市にとっても重要であると考えるが、営利目的での利用を視野に入れた地域コミュニティーセンターへの移行の考えは。

答　公民館での貸出しは、サークル等、区長会や子ども会育成会等の地域団体への貸出しのほか、地元企業等が地域貢献活動を行う場合に貸し出すなど、営利目的ではない活動に限定しています。営利目的での利用を視野に入れた地域コミュニティーセンターへの移行は、営利目的が可能になることで、民間企業等との連携を促進し、様々なイベントができるなど、地域の活性化に寄与することも考えられることから、市民の皆様のニーズや今後の利用状況を踏まえ、調査研究していきます。

問　DXの推進や利用者の利便性を考慮しての教室・講座等のオンライン申請導入の考えは。

答　スマートフォン等を利用できない市民の方への配慮も行いながら、より多くの教室や講座でオンライン申請を導入し、利用者の利便性向上と教室等への参加者の増加を図りたいと考えています。

問　子ども食堂、子供居場所づくりの必要性は社会の変化とともに今後も増え続けると考えるが、子供支援策の一環としての公民館使用の考えは。

答　本年4月から宮郷公民館で開催している、大学生ボランティアが主体となった地域と連携した子ども食堂のような取組であれば、他の公民館においても子ども食堂として利用可能ですので、子供の居場所づくりとして活用いただきたいと考えています。

その他の質問

- 青少年育成センターについて
- 地域交流センター赤石楽舎及び広瀬生涯学習館における指定管理者制度の導入について
- 防災について

地域の生涯学習拠点としての公民館

災害時の生活用水確保のための防災井戸設置の考えは

伊勢崎クラブ
飯島　学

動画はこちら

防災井戸について

問　災害時の飲用水以外の生活用水の確保が市民の安心安全のためにも大変重要であり、生活用水を確保するためにも防災井戸は必要と考えるが、現存する井戸の地域別調査を行う考えは。

答　能登半島地震などにおいて、生活用水の確保が課題となり、その課題解決の一つとして井戸水が有効であったことは認識し、必要性を感じていますので、地域と連携し、災害時に活用できる井戸の調査等を進めていきます。

問　防災協力井戸の登録制度の考えは。

答　所有者から災害時の全市的使用の同意がいただける井戸を防災井戸として登録する仕組みを検討していきます。

問　指定避難所への設置の考えは。

答　費用面、衛生面及び安全面等の課題があり、現在検討していませんが、避難所の生活用水の確保は学校のプールなどを活用していきます。

問　災害拠点病院(伊勢崎市民病院)の災害時に必要な水の確保の現況は。

答　令和元年7月に災害拠点病院の指定要件の一部改正に伴い、既存の井戸設備に飲用浄水設備を追加し、令和3年3月から医療用及び飲料用として水質管理を行いながら井戸水と水道水を混合して平時から使用しています。災害時に水道水の供給が得られなくなった場合でも、自動的に井戸水単独の供給に切り替わり、医療を継続することが可能となっています。

狂犬病予防注射について

問　狂犬病予防法のマイクロチップ装着の特例制度参加に対する考えは。

答　マイクロチップ情報の管理運用方法について、前橋市及び高崎市と共同で利用している基幹情報システムのワーキンググループで協議を進めながら他市の事例を調査研究していきたいと考えています。

その他の質問

- 公共施設におけるいせさきFree Wi-Fiについて

安心安全のために防水井戸の設置を

全ての質問を動画で視聴できます
伊勢崎市議会　検索　動画の内容は公式記録ではありません

中学校武道場及び市立屋内運動施設の空調設備設置は

伊勢崎クラブ
定方宏允

動画はこちら

中学校武道場及び市立屋内運動施設の空調設備設置について

問　夏季に猛暑日が続くなど、熱中症リスクが高まっている現状を受け中学校・中等教育学校を優先に空調設備設置を進めているが、各中学校武道場、市民プラザ、あずま、境、赤堀体育館、各地区の武道館など、まだまだ市民の皆様が空調設備設置を望む施設は数多くあるが現状は。

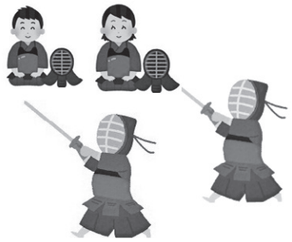
答　市民プラザ体育館は、1階の柔道場及び剣道場並びに2階のアリーナには、空調設備は設置していませんが、1階の各道場の控室及び2階のアリーナの控室にそれぞれ1台、計3台を設置しています。また、赤堀、あずま及び境体育館並びに各地区弓道場、剣道場及び武道館は、空調設備はありませんが、熱中症対策として、大型扇風機の設置、注意案内の掲示、WBGT計の暑さ指数による注意喚起などを行っています。中学校武道場に空調設備は設置していませんが、熱中症が心配される時期における授業や部活動での利用については、気象情報やWBGT計の暑さ指数を踏まえて、利用環境や生徒の体調の変化をきめ細かに把握しながら、伊勢崎市熱中症対策マニュアルに基づき教育活動を行っています。

問　今後の方針及び中学校武道場への整備計画は。

答　本年度、市民体育館及び弓道場更衣室に空調設備を設置する計画を進めています。なお、他の市立屋内運動施設は、利用状況等を踏まえ、各施設の個別施設計画の中で検討していきます。中学校武道場への空調設備設置は、平成24年度に整備した小中学校の普通教室、特別教室等の空調設備更新の計画と併せて総合的に検討を進めます。また、快適な教育環境の維持に必要な空調設備は学校施設全体での計画的な整備を検討していきます。

その他の質問

- 孫育てをする祖父母の支援について
- 終活支援について
- 伊勢崎市誕生20周年記念事業の周知について



中学校武道場に空調設備設置を

境町駅前駐輪場への屋根設置の考えは

伊勢崎クラブ
柳　敦志

動画はこちら

公共交通利用者の利便性向上について

問　自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となった今だからこそ、ぜひとも境町駅前駐輪場への屋根の設置が必要であると考えるが、市の考えは。

答　境町駅駐輪場に屋根はありませんが、サイクルラック等を置き無料で利用いただいています。市が管理する国定駅と剛志駅の駐輪場にも屋根はありませんが、伊勢崎駅と新伊勢崎駅の駐輪場は高架下用地のため、雨よけができる場所となっており、いずれも無料です。一方で、民間の有料駐輪場は伊勢崎駅、国定駅及び剛志駅前にあり、いずれも屋根付きですが、境町駅前には民間の有料駐輪場がない状況です。駐輪場への屋根設置の検討については、他の駅前駐輪場や民間有料駐輪場への影響、設置場所や費用、駐輪場利用者等の意見も含め調査研究していきます。

問　コミュニティバスあおぞらの伊勢崎駅での乗車場所や出発時間等について案内等視認性を高めていく考えは。

答　伊勢崎駅南口駅前広場にはバス乗り場までの誘導案内板、触知案内板及びバス乗り場看板を設置するとともに、総合案内板や他のバス乗り場看板の一部にコミュニティバスあおぞらの乗り場を案内していますが、今後は利用者目線に立った案内表示の検討を行い、利便性向上に努めていきます。

問　バス利用料金へのキャッシュレス対応についての考えは。

答　利用料金の支払については、1日乗車券や回数券を現金で購入していただいていますが、今後は、本市と似た運行形態を実施している他市の事例や本市に発着する他のバスのキャッシュレス対応の状況、コミュニティバスあおぞらの利用者の意向を含め調査研究を行い、その結果を基に伊勢崎市地域公共交通会議で協議し、検討していきます。

その他の質問

- 福祉医療について
- 文化観光課所管施設利用者の利便性向上について

境町駅前駐輪場に屋根の設置を

臨海学校の取組をさらに拡充する考えは

有志会
小暮笑鯉子

動画はこちら

学校教育について

問　AI・AGI時代に向けた備えとして非認知能力を大きく伸ばす必要があり、野外体験学習が大変効果的で、長期宿泊になるほど子供同士だけでなく、子供と先生の信頼関係が深まり、いじめの発生や不登校児童の発生の軽減に効果的であると言われるが、臨海学校の取組をさらに拡充する考えは。

答　昨年度から1泊2日の日程で臨海学校を再開し、過密状態での集団生活を避け、どの学校も等しく海での自然体験を行う機会を確保できるプログラムとし、実りのある学びの機会となったと捉えています。その後、臨海学校実施校合同会議及び臨海学校運営委員会において、限られた期間であっても2泊3日で実施していた臨海学校と同程度の成果が得られたことを共有しました。また、親元を離れて遠方で宿泊することに不安を感じる児童、慣れない環境で体調不良になる児童が少なかったことも報告されていることから児童の心理的な安定や体力面、健康面への配慮などから総合的に協議し、本年度も単独校での入校として、1泊2日で実施することを決定しました。

問　教職員の事務作業軽減のために、集金から口座振替への移行の考えは。

答　小中学校で行っている集金は、教材等の購入費や旅行積立などで、口座振替手数料等の費用は保護者負担となるため、学校と保護者間で合意が必要となります。中学校は、現在6校が口座振替を実施していますが、未実施の全ての中学校でも、具体的な検討が進められています。小学校は、集金の頻度が高く金額が少額で手数料が割高になることなどから、中学校に比べ口座振替が進みにくい状況がありますが、教員が現金をできるだけ取り扱わないようにする工夫や学校で現金を保管しないようにする工夫を進めています。教育委員会では、先進的な取組事例等参考となる情報を発信し学校の取組を支援しています。

その他の質問

- 歴史資産の活用について

臨海学校で非認知能力の醸成を

ヤングケアラー支援の現在の対応と今後の取組は

公明党
手島良市

動画はこちら

ヤングケアラーの支援について

問　大人が果たすべき家事や家族の世話を子どもが背負うことなく、自分の人生を選択して生きてもらうために、社会での仕組みづくりと連携が求められている。ヤングケアラーへの支援として、一番大切なのは関係機関同士の連携であるが、現在の対応と今後の取組は。

答　ヤングケアラーの中にはネグレクトとして児童虐待に該当するケースも想定できることから、本市では、子ども家庭相談支援センターが窓口となり、関係機関と情報共有を図りながら連携して対応しています。ヤングケアラーへの対応としては、その疑いがあるケースとして学校や地域からの情報に基づき、そこに至る状況を丁寧に分析した上で関係機関と調整を図りながら、既存の障害福祉サービス、生活保護制度、介護保険サービスなどの社会保障制度を複合的に組み合わせて対応しています。また、幅広い対応が必要な事案等に対しては、児童福祉や保健医療、教育、警察・司法などの機関で構成される伊勢崎市要保護児童対策地域協議会で対処しています。今後の取組は、支援員がヤングケアラー等のいる家庭を訪問し、不安や悩みを傾聴し、家事や子育て等の支援を行うアウトリーチ型の制度等の導入について検討していきます。

親子面会交流について

問　離婚後、子どもと離れて暮らしているお父さんやお母さんが子どもと会って話をしたり遊んだりする親子面会交流について、現状と今後の考えは。

答　戸籍担当窓口で、面会交流等の実現方法を分かりやすく説明されたパンフレットを配布しています。また、面会交流等の相談があった場合は、県内の親子交流支援団体を案内しており、今後も丁寧な対応を継続していきます。

その他の質問

- 災害への備え等について
- 子どもを守るAIアプリについて
- 健康診断実施のための環境整備の推進について

ヤングケアラーは解決すべき課題

学校給食費完全無償化を目指すにあたり財源問題は

日本共産党議員団
長谷田公子

動画はこちら

学校給食費無償化及びオーガニック給食について

問　学校給食費完全無償化を目指すロードマップが示されたが、かねてより給食費の無償化は財源的な裏づけを持って進めていくとのことであった。財源の問題は。

答　経常的に多額の一般財源が必要となりますが、今後の見通しとして、歳入面では、産業団地の開発による企業の進出等により、固定資産税等の市税収入において3億円から4億円程度の増収が見込めます。歳出面では、下水道使用料等の本年度からの料金改定実施に伴い、一般会計から公共下水道事業会計等への繰出金において、令和7年度以降で1億円、令和10年度以降で2億円の縮減等が図られる見通しですが、必要に応じて財政調整基金を活用していきたいと考えています。

問　完全無償化を実現している市では、本市に比べて財政力指数が高い自治体ばかりではなく、2022年度の数値で本市が0・83、藤岡市0・65、みどり市0・62、渋川市0・57といずれも下回っているが、本市はなぜ中学生の無償化は来年度からなのか。

答　令和9年度以降で、歳入歳出合わせて合計5億円から6億円程度の財源を確保できることを考慮して来年度から進めることになりました。

学校給食費完全無償化を目指して

電磁波アレルギーについて

問　電磁波アレルギーの皆様にとって強い電磁波を発する携帯基地局は大変な苦痛を与えているようだが、基地局設置の届け出や地元説明会の開催を義務付ける条例制定についての検討や研究は。

答　特定の数少ない方が本当に困難な状況になっている現実にあることは承知しています。利便性を感じている市民の皆様に困難な方の状況を周知し、対策を一緒に考えていきます。

その他の質問

- 市史編さん事業及び出土遺物・歴史資料の扱いについて
- 生活保護行政について

不登校対策に市民部局と教育部局の一本化の考えは

伊藤純子

動画はこちら

不登校等の対策について

問　米子市は福祉と教育を一体化した新たな組織こども総本部を構築したことにより、不登校生徒を教室復帰させることができたと捉えているが、本市も、一人の子供を分掌し、こども福祉部と学校で対応することで、不登校等の問題に光が差すと思うが、市民部局と教育委員会の一体化の考えは。

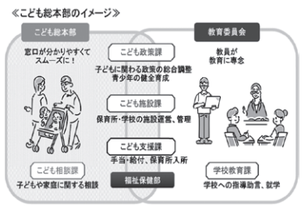
答　不登校や児童虐待、ヤングケアラー等の対応の際に、市長部局へ学校からの相談や報告が迅速にできる仕組みを構築しており、こども発達支援センターの職員が学校に助言や相談を行う事業も開始しました。部局間の連携をさらに深める取組を推進していきます。

問　教育委員会はこれまで研究し、いろいろな問題に一生懸命尽力されていると認識している。市民部局との連携をさらに取るとのことだが成果が得られていないのだからどのように対処していくか、次の段階に入っていると思う。米子市を視察した時に、不登校生徒の置かれている背景には別のシーンや配慮が必要な子供が多く存在しており、市民部局と教育委員会が一体的になってサポートし、迅速に対応した結果、保護者がまず心を開き、学校復帰ができたと先生が話をしてくれた。実績を持つ学校が言ったことは説得力がある。本市も市民部局と教育委員会を一本化すれば必ず良い成績になると思う。連携をしていても不登校の生徒は増加傾向にある。結果を生み出すためには、こういった努力も必要と考えるが、市長の考えは。

答　不登校問題は、要因も多種多様多岐にわたるため、教育委員会だけでなく、家庭との連携、様々な機関との連携が必要となり、その中に市長部局も関わっていかなければならないことは承知しています。窓口の一本化は、今ある課題を詰めて、子供たちと行政の在り方を検討し、その中で組織について改めて取り組んでいきます。

その他の質問

- 公共施設の安定的な管理運営について



市民部局と教育委員会を一本化に

不登校問題の実情や認識は

多田　稔

動画はこちら

不登校問題について

問　過去3年間の不登校児童・生徒数及び全体に占める割合は。

答　令和3年度は小学校が155人で1・4%、中学校が342人で5・6%、令和4年度は小学校が182人で1・6%、中学校が386人で6・5%、昨年度は現時点での速報値になりますが、小学校が218人で2・0%、中学校が407人で6・9%です。

問　昨年度の不登校の中学生は407人。四ツ葉学園の全校生徒382人以上の子供たちが不登校になっている事実について市長の認識は。

答　厳しい状況にあることを認識しており、市長部局と教育委員会が連携し多様な原因を分析しながら対策を検討しなければならないと考えています。

問　不登校児童・生徒数を教育要覧に掲載しない理由と問題解決に向けた議会との連携は。

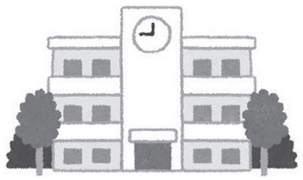
答　不登校児童・生徒数は、国の学校基本調査結果により公表されていましたが、平成28年度以降非公表となり市独自の公表は行ってきませんでした。令和5年度から教育委員会事業点検評価報告書に記載しホームページで公表しています。今後は教育要覧への記載も検討していきます。議会との連携は、不登校関連事業の予算や決算の審議、ほっとる～むの設置等の情報提供を行ってきました。

問　教育委員会事業点検評価報告書で不登校対策への自己評価が最高評価となっていることへの考えは。

答　健全育成全般に関わる評価のため最高評価となっていますが、不登校の問題は社会教育や家庭教育の関係者とも力を合わせて取り組まなければならない重大な問題であるという認識です。

その他の質問

- 国の事業移管に伴う水道事業の在り方について
- 新型コロナワクチン接種健康被害について
- まちなかベンチについて



不登校問題解決に向けた各種連携を

常任委員会審査

本会議で常任委員会に付託された議案について慎重に審査を行いました。主な質疑及び結果概要は次のとおりです。

総務委員会

伊勢崎市個人番号カード利用条例案

問　マイナンバーカード更新時のタクシー活用事業に係る更新手続は。

答　発行から10回目の誕生日の更新時はマイナンバーカード自体が切り替わるため、再度利用手続が必要になると見込んでいます。

令和6年度伊勢崎市一般会計補正予算（第2号）

問　多文化共生事業における消耗品費、動画制作委託料及び備品購入費の内容は。

答　SDGs未来都市として多文化共生の取組を推進していくための拠点創出事業実施に伴うもので、消耗品費は外国人が転入手続の際に生活に関するルールの動画を視聴するため、市民課、各支所にタブレット等を購入するもので、動画制作委託料はタブレットで視聴する15分程度の動画を日本語、英語、スペイン語、ベトナム語及びポルトガル語の5か国語で作成するものです。備品購入費は通訳者のいない言語にも対応できるよう、日本語のほか12か国語に対応した翻訳機能付透明ディスプレーを購入し、国際課で活用していくものです。

第3次伊勢崎市総合計画長期ビジョン（基本構想）の策定について

問　外国人との共生を進める上での課題の明記は。

答　長期ビジョン（基本構想）では外国人に向き合うという姿勢を述べていますが、課題については十分認識しており、一つ一つ向き合って取り組んでいきます。

結果　付託された8議案は原案のとおり可決すべきと決定しました。

文教福祉委員会

伊勢崎市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

問　公立保育所及び私立保育所並びに認定こども園等への職員増員は。

答　公立保育所は既に新基準を満たしており、私立保育所及び認定こども園等もおおむね新基準を満たしています。

ふくしプラザ改修空調設備工事請負契約の締結について

問　施工のスケジュール及び施設利用者への周知は。

答　工期は令和7年3月14日までを予定し、広報紙及びホームページで周知するほか、施設内や指定管理者である伊勢崎市社会福祉協議会によっても周

知しています。

豊受公民館新築工事請負契約の締結について

問　供用開始までのスケジュール並びに建物の構造及び面積は。

答　現在は整地及び側溝等の造成工事を行っており、6月下旬から建物新築工事等を予定、令和7年2月下旬までには完成、4月1日から供用開始となる予定です。建物は、鉄骨造1階建て、延床面積は769平米です。

結果　付託された6議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

経済市民委員会

群馬県後期高齢者医療広域連合の規約変更に関する協議について

問　マイナンバーカードを使った健康保険証への移行に伴う利用者の利便性向上は。

答　過去の健康医療データに基づき適切な医療を受けることができ、保険証の切替え及び更新が不要で、限度額認定証の申請をしなくても自己負担限度額を超える支払いが免除されます。

伊勢崎市民体育館空調設備設置工事請負契約の締結について

問　工期及び休館期間は。

答　工期は令和7年2月14日までを予定し、9月2日から令和7年2月14日まで、1階の会議室を除いて全館休館とする予定です。

問　設置工事に伴う休館期間の対応は。

答　利用者には窓口や広報紙及びホームページで周知し関係団体には調整会議で事前に周知し了承を得ています。

結果　付託された2議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

建設水道委員会

伊勢崎市営住宅設置条例の一部を改正する条例案

問　赤堀草倉住宅解体後の跡地利用の考えは。

答　庁内での利活用や民間への売却等を検討していきますが、当面の間は市で保有します。

市道路線の廃止について

問　市道(赤)2―116号線の廃止内容は。

答　現状は道路としての機能を有していないため廃止し、法定外道路として市で管理していきます。

問　市道(伊)1―557号線及び市道(伊)1―34号線の廃止後の予定は。

答　将来的には倉庫用地とする民間開発の手続が出ており、申請者に払い下げる予定で進んでいます。

結果　付託された3議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

議案の議決結果

市長提出議案

議案番号	議案名	付託委員会	議決日	結果
50	伊勢崎市個人番号カード利用条例案	総務	6.24	賛成全会一致
51	伊勢崎市市税条例の一部を改正する条例案	総務	6.24	賛成全会一致
52	伊勢崎市手数料条例の一部を改正する条例案	総務	6.24	賛成全会一致
53	伊勢崎市地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例及び伊勢崎市指定介護予防支援等の事業に係る基準等を定める条例の一部を改正する条例案	文教福祉	6.24	賛成全会一致
54	伊勢崎市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	文教福祉	6.24	賛成全会一致
55	伊勢崎市営住宅設置条例の一部を改正する条例案	建設水道	6.24	賛成全会一致
56	令和６年度伊勢崎市一般会計補正予算(第２号)	総務	6.24	賛成全会一致
57	第３次伊勢崎市総合計画長期ビジョン(基本構想)の策定について	総務	6.24	賛成全会一致
58	群馬県後期高齢者医療広域連合の規約変更に関する協議について	経済市民	6.24	賛成全会一致
59	伊勢崎市民体育館空調設備設置工事請負契約の締結について	経済市民	6.24	賛成全会一致
60	ふくしプラザ改修空調設備工事請負契約の締結について	文教福祉	6.24	賛成全会一致
61	ふくしプラザ改修給排水衛生設備工事請負契約の締結について	文教福祉	6.24	賛成全会一致

議案番号	議案名	付託委員会	議決日	結果
62	豊受公民館新築工事請負契約の締結について	文教福祉	6.24	賛成全会一致
63	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型の取得について	総務	6.24	賛成全会一致
64	小型動力ポンプ付水槽車の取得について	総務	6.24	賛成全会一致
65	災害対応特殊救急自動車の取得について	総務	6.24	賛成全会一致
66	第二学校給食調理場食器洗浄機の取得について	文教福祉	6.24	賛成全会一致
67	市道路線の廃止について	建設水道	6.24	賛成全会一致
68	市道路線の認定について	建設水道	6.24	賛成全会一致

|陳情|
・集団かつ組織的な人権侵害、通称、集団ストーカー犯罪抑止の啓蒙活動に関する陳情(第２号/総務委員会・経済市民委員会)
・対外的情報省と横田基地について意見書提出に関する陳情(第３号/総務委員会)
・ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書の提出を求める陳情(第４号/総務委員会)
|市長からの報告|
・６月６日　和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について(第14号)

次回定例会に係る会議日程(予定)

8／27	火	議会運営委員会
9／ 2	月	本会議
9／ 5	木	本会議
9／ 6	金	本会議(一般質問)
9／ 9	月	本会議(一般質問)
9／10	火	決算特別委員会
9／11	水	決算特別委員会
9／13	金	本会議
9／17	火	総務委員会
9／18	水	文教福祉委員会
9／19	木	経済市民委員会
9／20	金	建設水道委員会
9／25	水	議会運営委員会
9／30	月	本会議

令和５年度 政務活動費収支報告

政務活動費の収支報告をお知らせします。
なお、ホームページでは四半期ごとに、支出状況報告書、会計帳簿、領収書、視察等報告書を公開しています。

会派名・会派に所属しない議員名	支出額	交付額
伊勢崎クラブ	6,702,611円	6,702,611円
有志会	1,369,354円	1,369,354円
公明党	829,880円	829,880円
日本共産党議員団	816,248円	816,248円
伊藤 純子	306,225円	306,225円
多田 稔	62,440円	62,440円
栗原 真耶	360,731円	360,731円
田村 幸一	0円	0円

※田村幸一議員は、令和５年５月16日から８月９日まで会派に所属しない議員として活動し、令和５年８月10日付で会派へ所属。なお、会派に所属しない議員である期間中に政務活動費の支出はありませんでした。

マチイロで市議会いせさき

マチイロ

無料アプリマチイロを利用して、スマートフォンやタブレット端末で市議会いせさきをいつでもどこでも読むことができます。

マチイロの主な特徴
●市のホームページに接続しなくてもアプリで広報紙を読めます。
●ページめくりや拡大・縮小などの操作も簡単にできます。
●気になる記事はメール添付やＳＮＳの投稿などに利用できます。

利用までの流れ
①App Store・Google Playでマチイロを検索し、アプリをダウンロード。
②個人設定で「お住まいの地域」などを設定。
③登録完了。発行日に最新の広報紙が配信されます。

※アプリのダウンロード及び利用は無料ですが、情報を受信する際の通信料は利用者の負担です。また、アプリで表示される広告は伊勢崎市議会とは関係ありません。

永年在職特別功労議員顕彰

6月6日、本会議開会冒頭の議場において、永年在職特別功労議員顕彰式を行いました。

田村幸一議員、田島勉議員及び長谷田公子議員の市議会議員として25年以上に及び市政の進展に尽力された功績を顕彰し、また、市長から感謝状が贈られました。

なお、田村幸一議員及び田島勉議員につきましては、肖像画を議事堂内に掲揚しました。

田村幸一氏

田島　勉氏

長谷田公子氏

表彰・感謝状受賞

6月6日、本会議開会冒頭の議場において、全国市議会議長会表彰状及び感謝状伝達式を行いました。

表彰受賞

市議会議員として、市政の発展に尽くされた功績により、表彰されました。

議員在職25年全国特別表彰受賞者

●長谷田公子氏

議員在職10年全国表彰受賞者

長沼宏泰氏

宮田芳典氏

大木　光氏

小暮笑鯉子氏

感謝状受賞

全国市議会議長会感謝状受賞者

全国市議会議長会評議員として、会務運営の重責にあたり使命達成に尽くされた功績により、感謝状を受賞されました。

●長沼宏泰氏

ＱＲコードを読んで一般質問の様子を見てみましょう！

一般質問ページの見出し部分に録画配信閲覧用のＱＲコードを議員ごとに掲載しています。

気になる項目を質問している議員の映像をすぐに見ることができるだけでなく、議会の一般質問の様子にも触れることができます。ぜひご覧ください。

1 お持ちのスマートフォンのカメラを起動し、ＱＲコードを読み取ります。

2 表示されたＵＲＬをタップします。

3 各議員の一般質問の録画配信のページにつながります。再生ボタン「▶」を押すと動画を視聴できます。

ＱＲコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

スマホアプリ「マチイロ」で市議会いせさきを配信中！

マチイロ

編集発行／伊勢崎市議会広報委員会
今泉町二丁目410　☎24-5111(代)
印刷／第一印刷株式会社

次号は11月1日の発行を予定しています